



北斗句会

令和四年九月例会（七日）

兼題 「二」「来」

五十音順

特選は特選 石田きよし選

特 参道に一目二目の紅葉かな

大崎石州

特 友情に押されて一句竹の秋

太田黒幸風

黄落期自分史辿る八十路かな

大森康正

本閉ぢし机の上の残暑かな

竹内雲泉

特 落蟬を一瞥しては過ぎにけり

田中資凡

楔打つ鍬の響きや空高し

長池豆陽

はぢらひのいろをひそめて白芙蓉

藤田紀潮

かなかなや元気を出せと万回も

宮下ひかる

始発待つ一番ホーム霧の中

森田光彦

西瓜食う運転免許証返す

吉岡誠山



蔑切やひと言多き妻とゐて

石田きよし